

3次元地盤モデリングシステム

Geomap3D

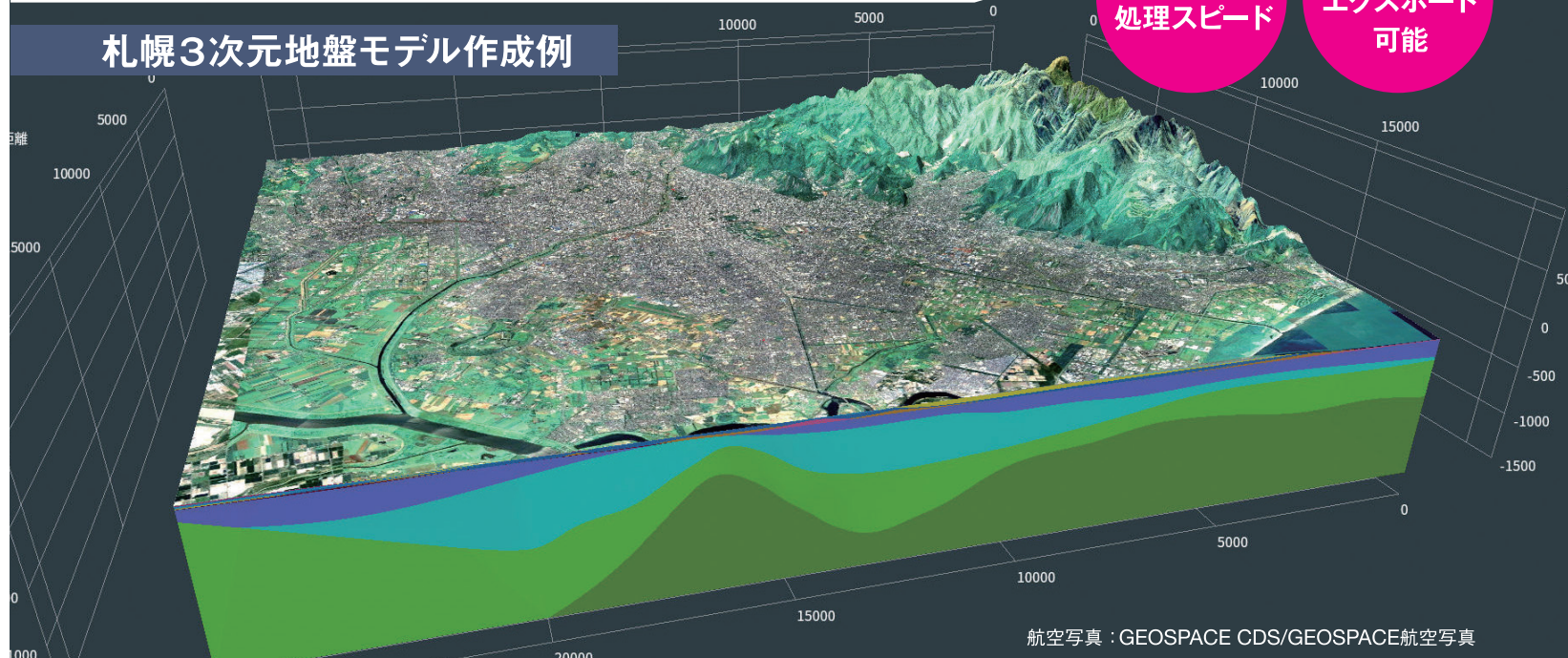
3次元地盤モデルを
すばやく作成！



軽快な
処理スピード

DXFで
エクスポート
可能

札幌3次元地盤モデル作成例

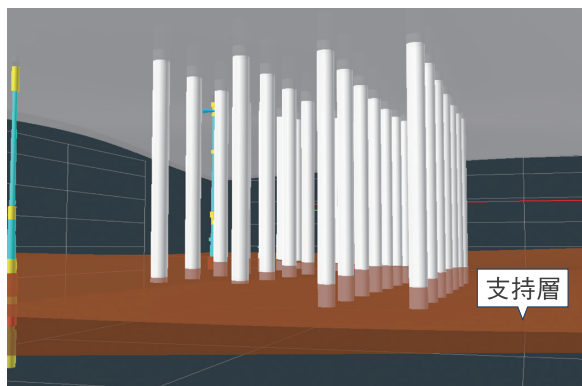


航空写真：GEOSPACE CDS/GEOSPACE航空写真

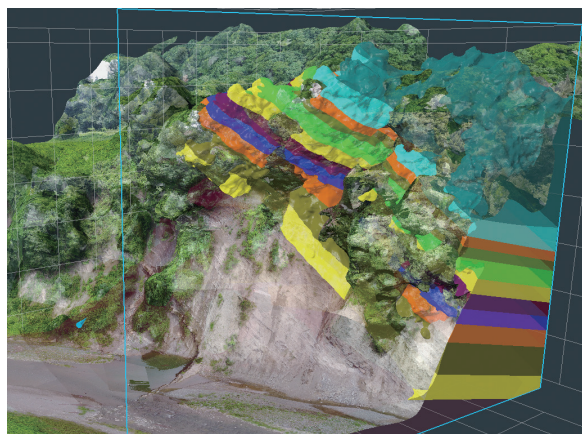
3次元地盤モデルの利用例

Geomap3Dで作成した3次元地盤モデルを利用すれば、切土・盛土施工モデル作成、杭の表示などが可能です。DXFでエクスポートすれば、他システムとの連携も可能となります。

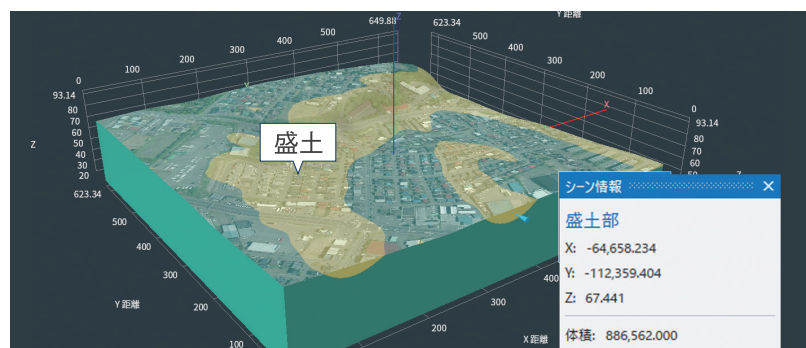
杭と支持層の3次元モデル



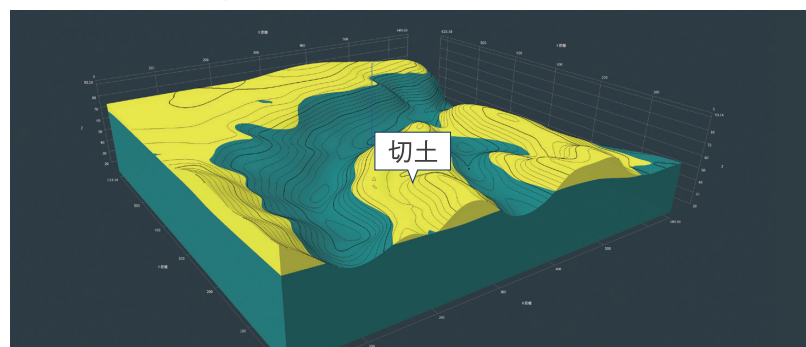
写真測量結果と崖面の地層3次元分布



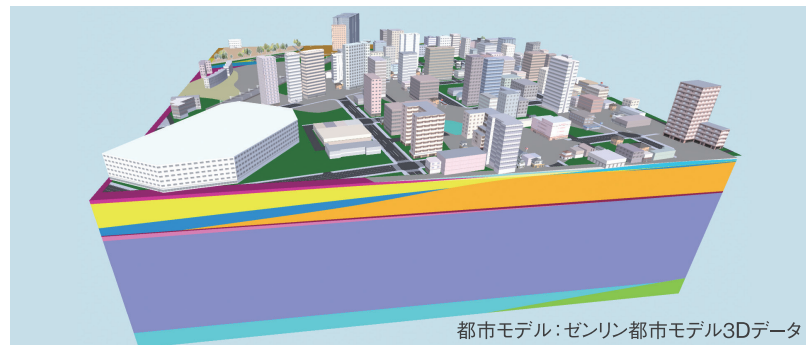
宅地の3次元盛土分布と盛土部の体積計算



宅地造成前の旧地形3次元モデル



Geomap3Dで作成したDXFをNavisworksで読み込み



都市モデル：ゼンリン都市モデル3Dデータ

モデル作成フロー

Step1: モデル初期設定

地盤モデルの作成範囲を指定し、モデルの層序を設定します。

層序	有効	地層名	属性	色	標高点
9	☒	地形面	地形面		×
8	☒	As3	堆積		×
7	☒	Ac2	堆積		×
6	☒	As2	堆積		×
5	☒	Ac1	堆積		×
4	☒	As1	堆積		×
3	☒	Tt	堆積		×
2	☒	Ds	堆積		×
1	☒	基底面	基底		×

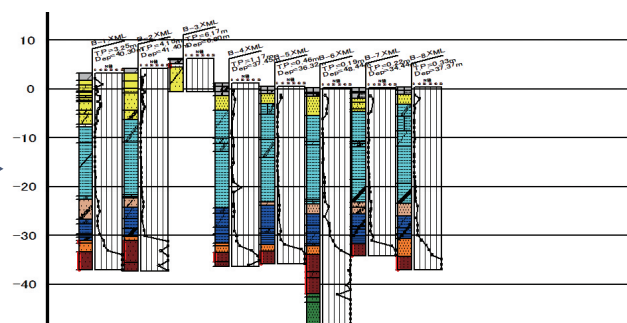
層序入力
一覧表

Step2: 各層の標高点を入力

設定した各層の上端標高点を入力します。
標高点は以下の方法で入力します。

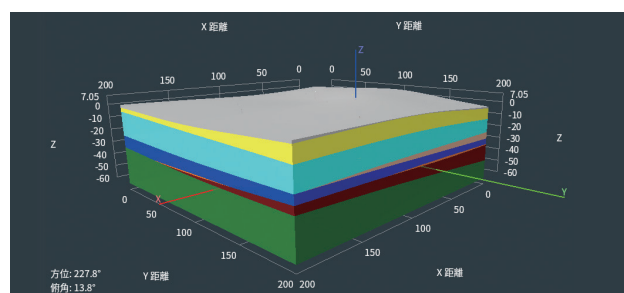
- 表形式入力
- 平面図からの入力
- ボーリング柱状図の区分入力
- 既存の断面図画像からのトレース入力

柱状図に
地層区分入力



Step3: モデル構築

入力した標高点から補間計算により面を作成します。BS-Horizonという面補間計算法で計算を行います。
作成された各層の面からモデルを構築し、ビューアで表示します。



モデル構築

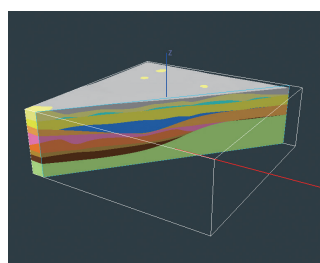
ビューア機能

作成した3次元地盤モデルは専用のビューアで閲覧・操作できます。

マウスを使った簡単な操作で、拡大・縮小、回転、視点の移動を行います。

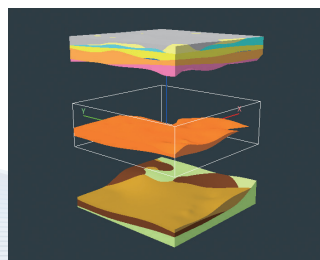
任意断面図の表示

任意の座標・走向・傾斜で断面図を表示できます。厚さを指定することで、薄片状の断面も表示できます。



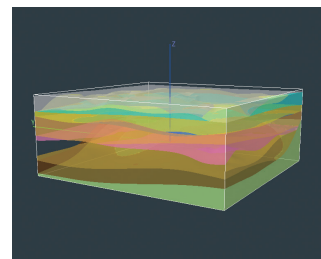
地質体の分離表示

任意の地質体を他の地質体と分離して表示することができます。分離した地質体の形状の特徴をつかむことができます。



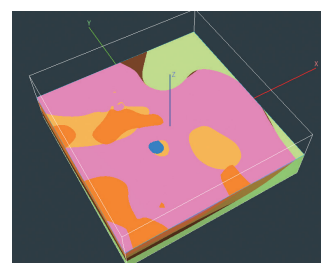
モデルの表示の切替

透過度および表示・非表示を地質体ごとに設定でき、特定の地質体を強調したり、隠したりすることができます。ワイヤフレーム表示にすることもできます。



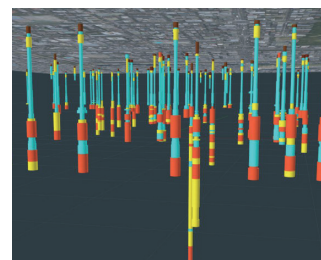
水平断面図の表示

任意の標高で水平断面図を表示できます。



ボーリング柱状図の表示

ボーリング柱状図を円柱にして表示します。土質は色、N値は太さを変えて表示します。



お問い合わせ
お見積もりは



ジーエスアイ株式会社

<http://www.gsinet.co.jp/> 茨城県水戸市中央2-8-37 茨城県味噌会館2F